

2025年9月 事務局：〒681-0061 岩美町高山824 Tel&Fax 0857 73 1051 yotsui@ncn-t.net

今春 やまびこ館で

碧川かた研究会を開

春を待つて4月17日（木）に、鳥取で研究会を開催しました。今回は「明治以後の和田家」と「かたの母みね」のことです。

みねの墓がわかって、天理教に入信していたことも、企救男との長男、カメラマンの道夫が昭和37年3月にかたの分骨を実母に会わせたこと

など、長い年

月の中のポ

イントがわ

かりました。

（お墓が命

日の2月1

日にあわせ

て日本海新

聞に2月6

日紹介され



研究会の様子（やまびこ館地下研修室）

ました。）

「明治以後の和田家」では和田信美は明治12年から15年は第六十五銀行の頭取などの役員をしたが、経営難から閉店し、その後明治19年12月から京都府職員名簿にある。明治32年10月27日に京都で死亡し、知恩院の墓地に入った。今回山瀬幸人（鳥取ではじめての国会議員）の姉いなが信美の妻であったことがわかったが、今後の研究を要する。

邦之助はその半年後の6月に鳥取で亡くなり、お墓は真教寺そして昭和27年の鳥取大火以後は松崎の西向寺である。

県外研修 閑谷校訪問

岡山県青少年教育センター閑谷学校で開催された文化講演会で、たつの元小学校校長の梅本光子先生の「露風の母への想い」を聴講するために鳥取から4人、たつのかたの会から15人参加しました。その後露風が下宿して世話

を受けた中嶋邸へ。孫にあたる方の聞き伝えの話しを聞くことができました。



露風が食事入浴の世話を受けた中嶋邸の前で

明治37年11月から翌年6月までわずか8ヶ月の在学であったが、優秀生には6畳一間の小荘を借りることができた。近くに住む、太田小茂与（こもよ）を恋するようになるが、父節次郎の反対により悲恋に終わった。初期の代表作「ふるさとの」のモデルになった。

たつとの交流コーナー

たつの霞城館ボランティアの方々が2年かけて、自筆の難解な碧川かたの疎開日記を解読して、現代語に活字化して発行されました。ちょうど戦後80年で甦りました。秋の研究会で用いる他、県図書（貸出し可）・県博においてありますので、ご覧下さい。霞城館研究紀要第一号 『戦後80年に甦る 三木露風の母 「碧川かた」の疎開日記』で、

碧川かた研究会に参加して

中田 裕子

何年前か、「赤とんぼ」の詩を作った三木露風の母が、鳥取城堀端の屋敷で家老の娘として生まれた人であることを聞き驚きました。

次いで、彼女が婚家を出た後、婦人参政権獲得に奔走した運動家の草分けであったことを知ると、なんて立派な女性が鳥取から出たのだろうと誇らしく、私にとってアイドル的存在になりました。「かた研究会」主宰の催しや刊行物のおかげで、その人生や業績、家族等について理解を深めることができました。

その中で、かたさんがキリスト教の洗礼を受けた本郷教会で立ち上げた「同志看病婦会」の発起人名簿の中に「安井てつ」の名を見つけました。安井てつ女史は私の出身大学の二代目学長として親しんできた人物だっただけに、かたさんとの接点には興奮しました。

若き日の二人が、同じキリスト教精神に根差す福祉の目的をもって行動を共にしている場面を想像すると、ますますかたさんが身近に感じられました。

今日、二〇二五年四月十七日に行われた研究会のテーマは、「明治以後の和田家」と「かたの実母・みねのこと」でした。明治になってから亡くなるまでの、かたの父・邦之助や跡取りの和田信美の消息、屋敷の変遷、かたの実母・みねさん

のかた宛ての手紙、前田家に嫁いでからの系図等、豊富で詳細な資料で明らかになる研究成果には目を見張ります。みねさんが手紙の中でかたに訴えた、かたの父・邦之助へ寄せる労りの想いには胸を打たれました。この度、婚家にある墓がみねさんのお墓であることを知り、さらに大切に守っていかうと決意されている前田あつ子さんに感銘を受けます。また、みねさんの孫に当たる沖田巖氏が、その長年の「公正さと人権擁護の立場に立つて」全うされた仕事で叙勲を受けられていることを知り、かたさんに通じる資質を感じずにはいられませんでした。



中田裕子会員

女性参政権が行使されて来年で八十年です。かたさんたちがあれほどまでに努力し希求した世の中になっているか、今一度考え、これからの行動の指針にしたいと思います。

かたの紙芝居 好評

鳥取市社協のふれあいデイサービスにとりあげていただき、各地域の公民館で「赤とんぼの母 碧川かたの生涯」の紙芝居を四井が出前講座しています。近くに行った時はどうぞおいでください。

「次回研究会のお知らせ」

★10月に鳥取で研究会をします。

【会場】鳥取市歴史博物館やまびこ館

地下研修室

【日時】10月9日（木）

午後1時半～3時半

【テーマ】『「碧川かた」の疎開日記』発行

の経過と史料本文についてた

つのかたの会編集委員会文中小

智子代表の話を聞きます。

★この冊子を協力金300円で購入し

ていただき、それを資料とします。

※『前進』の販売もあります。

